

仙台みどりと風の会 だより

第5号

2014年4月30日

編集・発行 仙台みどりと風の会

〒982-0011 仙台市太白区長町6丁目13-8-408
Tel・Fax 022-233-4550

挑戦する杜の都へ、発信！

仙台市長 奥山 恵美子



仙台みどりと風の会のみなさま、こんにちは。昨年の仙台市長選挙におきましては、多大なるご支援をいただき、本当にありがとうございました。おかげさまで、前回は上回る18万票を得て、2期目のスタートを切ることができました。当選後は、さっそくみなさまにお約束した5つのチャレンジの実現に向けて、施策の推進に力を注いでいます。

その成果の第一弾として、去る2月5日「仙台経済成長デザイン」を発表しました。選挙中に掲げていた新規開業率日本一や新規雇用10万人、年間観光客入込数2300万人、農業販売額100億円の4つの数値目標のもと、9つの戦略プロジェクトを盛り込んでいます。なかでも、震災復興の中で機運が高まっている起業への支援については、大いに力を入れたいと考えており、仙台市起業支援センター「アシ☆スタ」を1月末にオープン。これまで起業に縁遠かった女性や若者の取り組みも、丁寧にサポートしてまいります。

また、震災からの復興については、計画の4年目を迎え、具体的な目に見える成果を出していくことが今年の大きな課題です。復興公営住宅については、昨年度661戸の完成をみ、この4月から入居が始まりましたが、今年度中にさらに2000戸を完成させるべく、工事の進捗を図ります。宅地被害の復旧は、公共工事部分の進捗が、昨年度末で2割でしたが、今年度は年央で8割、年度末では10割をめざします。未来へつながる安全なまちづくりについては、第二防潮堤としての機能も期待される東部復興道路、いわゆるかさ上げ道路について、去る3月16日に着工式が行われました。

今年は、5年後の完成をめざして、さらに用地買収を進める予定です。

復興の先を見据えた政策としては、来年3月14日から開催される第3回国連防災世界会議をしっかりと成功させ、コンベンション都市としての実績を高めていくことも今年の重要な案件。東北が一丸となって、世界中からのお客様をお迎えするとともに、震災の経験と教訓を発信してまいります。

そして、足かけ9年をかけた地下鉄東西線の開業も、いよいよ来年に迫りました。八木山動物公園のリニューアル、また高砂中央公園内にオープンが決まった水族館、新寺や薬師堂付近での手づくり市の盛況など、沿線も次第に活気づいて来ました。未来へ向けて107万都市を牽引する力強い地下鉄として走り出すよう、今年はいっそう沿線まちづくりに力を入れてまいりますので、みなさんのご支援と参加をよろしくお願いいたします。

うま年に負けないよう全力で駆け抜ける覚悟です。



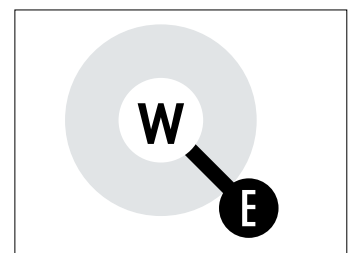
コンベンション施設

第3回国連防災世界会議
開催都市 仙台



World Conference on
Disaster Risk Reduction
2015 Sendai Japan

国連防災会議ロゴマーク



東西線プロモーションロゴマーク



平成 26 年度 仙台市の主要事業 復興への歩みを早め、躍動するまちを目指して

「百万人の復興プロジェクト」に全力で取り組んでいくほか、本市が目指すべき都市像の実現に向けて「学びを多彩な活力につなげる都市づくり」、「地域で支えあう心豊かな社会づくり」、「自然と調和した持続可能な都市づくり」、「人をひきつけ躍動する仙台の魅力と活力づくり」の4つの分野を柱とし、重点的に施策や事業を展開します。

◆百万人の復興プロジェクト

①津波防災・住まい再建プロジェクト

東部復興道路や津波避難施設の整備など、減災まちづくりを推進。防災集団移転や、復興公営住宅の建設および入居支援などに取り組み、新たなふるさとづくりを推進。

②市街地宅地再建プロジェクト

地すべり等が発生した宅地について、国の宅地復旧関連事業等により復旧を推進。国支援の対象とならない宅地は、本市独自の支援制度により早期復旧を促進。

③生活復興プロジェクト

「被災者生活再建推進プログラム」に基づき、

就労等の経済基盤の確立や、心と体の健康の確保など、生活再建を総合的かつきめ細かに支援。

④農と食のフロンティアプロジェクト

東部地域の農業再生に向けて、生産活動を安定化させる基盤整備や新商品開発などを促進。民間活力の導入により農業園芸センターを農と食のフロンティアの支援拠点として再整備。

⑤海辺の交流再生プロジェクト

被災した海岸公園に避難の丘等の防災機能を付加し、海や自然と触れ合える公園として再整備。市民・NPO・企業等と連携して植樹を進め、緑を再生。

⑥防災・仙台モデル構築プロジェクト

震災の教訓を生かし、避難所運営体制の強化、災害対応自家用給油取扱所の整備、自助・共助促進のための普及啓発などを行い、防災「仙台モデル」を構築。

⑦省エネ・新エネプロジェクト

特定のエネルギーに過度に依存しないエネルギー効率の高い都市づくりを推進。次世代型太陽電池や藻類バイオマス等、革新的な技術の開発・実証を進め、次世代エネルギーの拠点づくりを推進。

⑧ 仙台経済発展プロジェクト

地域企業の取引拡大と競争力強化を図るとともに、新産業・技術の開発支援などを行い、仙台経済の中長期的な安定成長につなげ、雇用の拡大を促進。

⑨ 交流促進プロジェクト

大型会議の誘致や、全国を対象にした観光キャンペーン、東南アジアでのプロモーションなどを展開し、仙台・東北の復興を国内外に発信し、東北の交流人口の回復をけん引。

⑩ 震災メモリアルプロジェクト

メモリアル施設の在り方や、荒浜地区における遺構保存・地域モニュメント整備について検討等を進め、震災の脅威と復興への取り組みを後世に継承。

1 学びを多彩な活力につなげる都市づくり

・創造都市の推進

市民が文化・芸術に親しみ創造性を発揮できる機会を創出するため、街なかや学校などで文化・芸術体験ができるイベント等を開催。市民の主体的な活動を支援し、仙台の文化・芸術の新たな土壌形成を促進。

・学都の推進と教育環境の整備

学都仙台コンソーシアムの運営支援などにより、大学・市民・企業・行政等の連携を強化。個性に合わせたきめ細かな授業や指導により、児童生徒の確かな学力を育成。社会の仕組みや経済を学ぶ「仙台子ども体験プラザ」を開館。いじめ防止のため、「いじめ問題対策連絡協議会」等を設置するとともに、不登校や引きこもり等の対応のため、スクールソーシャルワーカーを

配置。学校支援地域本部を設置するほか、施設・設備の改築・改修等を進め、豊かな教育環境を創出。

・文化・芸術を振興し、世界へ発信

若い音楽家を輩出し、音楽文化の振興と国際文化交流に寄与するため、平成28年度第6回仙台国際音楽コンクールの出場者募集を開始し、学校訪問コンサート等の関連事業も実施。10月に仙台クラシックフェスティバルを開催し、「楽都仙台」の裾野を拡大。

2 地域で支えあう心豊かな社会づくり

・子育て環境全体をレベルアップ

子ども・子育て支援新制度に対応するとともに、認可保育所の整備や幼稚園預かり保育の拡充、小規模保育施設の整備等を推進。放課後児童クラブの受け入れ枠拡大や市立病院を拠点とする児童虐待防止医療ネットワークの構築、国に先行した寡婦（夫）控除のみなし適用によるひとり親家庭等の経済的負担の軽減などにより、子育て環境をレベルアップ。

・誰もが安心して暮らせる社会の実現に向けて

先天性風疹症候群予防のため、抗体検査を新たに実施。11月開院の新市立病院に「こども急病診療所」を併設し、救急体制を充実。高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、介護予防や高齢者福祉施設を充実。障害者の就労支援や社会参加の促進、通所施設の整備などのほか、障害者差別解消に向け独自条例を検討。男女共同参画に向けた各種事業を進めるとともに、DV等の防止と被害者支援を実施。管理不全な空き家等の解消を目指し、地域と連携し対策を推進。

・地域防災力の強化

緊急輸送道路等の防災対策や民間大規模建築物の耐震化を促進。上下水道施設の耐震化、都市ガスの供給停止リスクの低減等により、ライフラインを強化。

3 自然と調和した持続可能な都市づくり

・持続可能な都市づくりの推進

省エネ・創エネ・蓄エネを進める「せんだいE-アクション」、家庭向け蓄電池やLED照明等の普及に加え、市施設の省エネ・節電等に取り組み、低炭素都市づくりを推進。生活ごみ・事業ごみの減量・リサイクルを進める資源循環都市づくりを市民・事業者・行政の協働で展開。杜の都の緑豊かな都市空間を形成するため、市民協働による「百年の杜づくり」を継続。

・活力と魅力にあふれる、新たな交流軸を創出

仙台駅西口駅前広場の再整備等を進め、交通結節機能を強化。地下鉄東西線の平成27年開業に向けて、車両の搬入・試運転を開始するとともに、駐輪場、アクセス道路等を整備。東西線沿線のまちづくりを推進し、「東西線フル活用プラン」により開業機運を醸成。鉄道との結節強化のためバス路線を再編。ICカード「イクスカ」を12月に地下鉄南北線へ先行導入。

・堅実な都市基盤の構築に向けて

仙台駅東第二・富沢駅周辺・荒井などで土地区画整理事業を進め、機能的な市街地形成と宅地の利用促進を図るほか、蒲生北部地区の都市基盤の再整備等を実施。老朽化した市営住宅の建て替え等を計画的に推進。道路や橋りょうの整備、維持・補修等を実施。

4 人をひきつけ躍動する仙台の魅力と活力づくり

・交流人口の回復、地元経済の持続的発展のために

新たに策定した「仙台経済成長デザイン」に基づき、仙台経済の持続的成長と東北への経済波及に向けたプロジェクトを戦略的に推進。多様な起業家の育成を図るため、相談機能の充実や女性の起業支援等を行うほか、商店街振興や企業誘致を推進。産学連携により中小企業の技術力・付加価値の向上を促進。

国内外で観光プロモーションや大型会議の誘致などを行い、交流人口を回復・拡大。農業の収益性向上と地域活性化のため、6次産業化や施設栽培の促進、担い手育成や法人化等を支援。杜の都の歴史的・文化的資産を生かした空間として、青葉山公園を整備。